

阿南商工会議所青年部



「夢に挑む」「地域を愛する」「連帯の証」となることを旗印に、平成2年8月に結成された若き企業家集団、阿南商工会議所青年部の皆さん。会員相互の親睦を図りながら研鑽を積み、仕事の傍らで活力あるまちづくりにも情熱を注いでいる。

現在、会員数は50人。上は50歳までと経験豊富で血気盛んな人材が集まる。仕事で培ったチャレンジ精神と縦横のネットワークを生かし、数々の実績を残してきた。

長崎県島原市の災害復興支援活動は、両市の交流に発展している。独身男女にすてきな出会いの場をプレゼントする「クリスマスパーティー」は、若者の定住促進を図る10年来の企画だ。親子で楽しむ「シーカヤック体験」は、室戸阿南海岸国定公園の雄大な自然を舞台にした観光事業活性化の一環として取り組んでいる。

昨年12月には、艦をメインに使った「郷土料理創造プロジェクト・あなん丼」で、

食欲の秋に新風を吹き込んだ。3月の活竹祭では4店舗が来店し約240食を完売。

新鮮な鱧の風味に大勢の方が舌鼓を打った。会長の松浦浩二さん(49歳・下大野町)は語る。「阿南の鱧の年間漁獲高が『日本一』であることはあまり知られていません。高級魚というイメージや骨切りといった手間

がかかることから、一般家庭ではなじみが薄い食材です。そんな鱧を安価で手軽に食べられることができたところ、市内の飲食店に協力を呼びかけたところ、提供店は「あなん丼」創作丼」の2部門で19店舗にも及んでいます。『鱧といえは阿南』、そう呼ばれることを夢見て盛り上げていきたいです」。

「あなん」を冠した初の丼企画。食を通じて地域が燦と輝く「地燦知匠」の思いが込められている。活力ある阿南を未来に受け継ぐ責任ある世代と自らを律し、まちづくり活動に精魂傾ける青年部員の熱い思いと一緒に丼をいただきました。



12月で1周年!
「あなん丼 BOOK 第2号」
近日中に発刊予定



いただきます!

あなん丼